

～「即興型の英語ディベート」を体験してみませんか～

参加者
募集!!

PDA

Challenge yourself!!

グローバル人材に必要な力を
身につけよう!!



高等学校における即興型英語ディベートプロジェクト PDA全国高等学校即興型英語ディベート体験会・交流大会のご案内

(協力:全国高等学校長協会)

即興型英語ディベートとは?

即興型英語ディベートは、世界で活用されているディベート形式の一つであるパラメンタリーディベートをもとに、学校の授業でもできるディベートスタイルにしたものです。一つの論題に対し、肯定と否定チームに分かれ、それぞれのチームが第三者を説得します。論題は、社会、政治、倫理、環境、国際問題など多岐にわたります。ディベートをする者は、肯定か否定チームのいずれに属するかを自ら選ぶことはできず、自身の意見とは異なる観点からの主張も考えなければならないことがあります。論題が発表されてから15分の短い準備時間の後、ディベートを開始します。即興型英語ディベートでは、素早い発信力が養われます。

step1

肯定または否定チームに
割り振られる(1チーム:3~4名)

肯定チーム



否定チーム



step2

テーマ発表。15分間準備する。



step3

ひとりずつスピーチする。

ジャッジ



step4

ジャッジ(審査員)をより
説得させたチームが勝ち!

ジャッジから一人ひとりにスピーチの改善点のアドバイスがあります。

1. ディベートルール



<https://www.youtube.com/watch?v=wxVv802Vsak&t=5s>

2. ディベートスピーチの作り方



<https://www.youtube.com/watch?v=gVev9iv-ito>

3. モデルディベート



<https://www.youtube.com/watch?v=n0br5gmqdkA&t=337s>
授業等でもご活用下さい。

主催

一般社団法人パラメンタリー ディベート人財育成協会(PDA) 問合せ jimukyoku@pdpda.org

これまでの参加者の声 (地域体験会・交流大会より)

- 自分が試合を通してどんどん成長していくことを実感できたのが楽しかったです。(札幌南)
- もっと深い、活発的な議論をできるように、これからも学校でやっていきたいと思います。自分がやっていない時も、ディベートを見るのが楽しかったです。(盛岡第一)
- 仲間と一緒に論題について話し合っただけで考え深められた。(前橋)
- お互いに熱く議論し合うことができた。特に議題に対しての知識が深まり、様々な意見を知り、持つことができたことが有意義でした。(県立浦和)
- 授業内でもディベートをしてはいるけど、授業内のものよりもテーマの内容的にも、主張の内容的にも密度が濃く、とても楽しかったです。(日比谷)
- 意見の交換できることが良かった。普段こんなに思考力を使うことがない。(湘南)
- 久しぶりに本格的なディベートができた。先生から今まで知らなかったテクニックを学べました。満足しています。(岐阜)
- 実際にやるのと同じようにディベートできた。インターネットでやるのは初めてで不安もありましたが、とても楽しくできたので良かったです。(岡崎)
- 最初は話せるか不安でしたが、自分も思ったより話せて楽しかったですし、英語で議論するのも楽しかったです。(北野)
- 英語でのディベートは瞬発力と論理的思考力が特に必要で、とても疲れたけど達成感もあり楽しかった。(岡山朝日)
- こういう経験をしたのは初めてだったので、凄く良い経験になりました。次回こういう機会があれば又参加させていただきたいです。(高松)
- 他校の自分と同じ学年や年下の学年の人たちが、自分と比べものにならないくらいにスピーキングの能力があったり意見ををはきはきと述べたりしている姿を見てとても刺激を受けました。(山口)
- 毎回、ジャッジをしていただいて、自分の改善点を見つけて次に活かすことができたと思う。他校の生徒さんからも沢山の刺激を得ることができて、とても充実した、1日でした。(熊本)



都立西高校セミナーの様子

Q & A

1 単語をあまり知りません。大丈夫でしょうか。

→ ディベートのトピックに関連した単語シートを用意しています。単語シートは議論を考えたときのヒントにもなっています。

2 英語を話したことがありません。スピーチができるでしょうか。

→ スピーチシートを用意しています。初めてでもスピーチのフォーマットに沿って順よく話せるようになっています。

3 ディベートのトピックについて知識がありません。議論を考えられるでしょうか。

→ トピックは、身近でわかりやすいものを選んでいきます。また チームメイトと一緒に自分たちの論を考えるので、お互い助け合い、相談しあうことができます。

4 英語の流暢さは勝敗にかかわりますか？

→ 英語の流暢さもプラスになりますが、議論の内容も重要です。

5 他校の生徒さんも参加しますが、雰囲気はhowですか。(交流会)

→ 仲良くなれるだけでなく、他校との交流を通して、自分の英語力や将来についても、とてもよい刺激を受けることができます。

PDAのイベント

～地域交流大会～

各地域の学校を一同に集め、即興型英語ディベートの交流大会を開催しています。大会当日はそれぞれの学校の代表チームが集い、他校の生徒たちと交流試合を行います。その後、予選で審査員であるジャッジがもう一度見たいと思った生徒たちがエキシビジョンディベーターとして決勝ディベートを行います。地域交流大会を通して、学校の枠を超えた熱い意見交換ができます。



～全国大会～

毎年東京大学を会場として行われる全国大会。
"教養のディベート大会"とも呼ばれ、
各界の著名人による
キーノートレクチャーは
これからの学びに
大いに役立ちます。



～世界交流大会～

世界各国の高校生達とディベートのみならず、
バンケットやレクリエーションなどで交流を深めます。
今まで培ってきた論理力、
英語力が世界に
通用するのか
その真価が問われます。



※詳しくは